



第16回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2019

入場
無料

スマート農業による 肉牛生産の展望



日時

2019年11月7日(木)
13:00▶▶▶17:00

場所

とかちプラザ2階 視聴覚室
〒080-0014 北海道帯広市西4条南13丁目1

近年、農業分野の後継者不在による高齢化は肉牛農家でも進行しており、深刻な労働力不足になっています。さらに、経営内で培われてきた技術を継承する人材も減り続けています。スマート農業は、「ロボット技術やICT(情報通信技術)等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業」と定義されており、その将来像として①省力・大規模生産を実現、②作物の能力を最大限に発揮、③きつい作業、危険な作業から解放、④誰もが取り組みやすい農業を実現、⑤消費者・実需者に安心と信頼を提供などが上げられています。これらは、当協議会が目標とする資源循環型肉牛生産を実現する上でも重要な技術と考えられます。しかし、農機メーカーやIT企業等による技術開発が急速に進展しているため、現状の技術でどのようなことが可能なのかについては、情報が不足しています。

そこで、本シンポジウムでは、スマート農業の観点から現行の肉牛生産システムについて検討し、議論を深め、将来の牛肉生産の一助としたいです。本シンポジウムは毎年、環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会および北海道短角牛振興協議会が主催しているが、今回は北海道オーガニックビーフ振興協議会および帯広市との共同開催とします。シンポジウム開催16回目に当たり、スマート農業による肉牛生産の展望について、生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型肉牛生産の意義浸透を図りたいと考えます。

基調講演

「農業の持続的な発展とスマート農業」

農研機構北海道農業研究センター 酪農研究領域長 大下 友子 氏

話題提供1

「有機畜産とIGT活用 実践例」

津別有機酪農研究会 会長 石川 賢一 氏

話題提供2

「IoT技術の肉牛生産への活用事例」

(株)デザミス 北海道営業所 所長 佐藤 志津哉 氏

話題提供3

「肉専用種枝肉共励会の 成績について」

帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏 と 受賞生産者

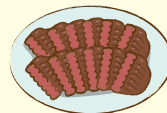
パネルディスカッション

司会: 大下 友子 酪農研究領域長 パネラー: 講演者、消費者代表

eびーふ食味試験

日時 18:00~

場所 ホテル宮崎 (帯広市西3条南21丁目8番地)
(帯広畜産大学 口田研究室主催)



意見交換会 (希望者のみ)

時間 18:30~

場所 ホテル宮崎 (帯広市西3条南21丁目8番地)

参加 参加費 ¥4,000



現地検討会

日時 11月8日(金) 午前中

場所 音更町長流枝
北の牧場舎 eびーふ木野畜舎



共催: 環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

後援: 帯広畜産大学、北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪畜産協会、NHK帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

シンポジウム
申込み・問合せ先

TEL:0156-64-0606

FAX:0156-64-3212

e-mail: nisimiti-yukiko@hro.or.jp (地独)道立総研機構 畜産試験場 肉牛グループ 担当 西道 由紀子

環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による牛肉として認証するeーびーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

プログラム

13:00～ 開会挨拶

13:05～14:30 基調講演 「農業の持続的な発展とスマート農業」

農研機構北海道農業研究センター 酪農研究領域長 大下 友子 氏

14:30～15:00 話題提供1 「有機畜産とICT活用 実践例」

津別有機酪農研究会 会長 石川 賢一 氏

15:00～15:30 話題提供2 「IoT技術の肉牛生産への活用事例」

(株)デザミス 北海道営業所 所長 佐藤 志津哉 氏

15:30～16:00 話題提供3 「肉専用種枝肉共励会の成績について」

帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏 と 受賞生産者

16:10～17:00 パネルディスカッション

司会: 大下 友子 酪農研究領域長 パネラー: 講演者、消費者代表

17:00 閉会挨拶

意見交換会・eびーふ食味試験意見交流会

日時 11月7日(木) 18:00～(講演終り次第)

場所 ホテル宮崎(帯広市西3条南21丁目8番地)

参加 希望者のみ 参加費別途¥4,000

現地検討会

日時 11月8日(金) 10:00

場所 音更町長流枝

北の牧場舎 eびーふ木野畜舎

参加申込書

締切期限

11月1日(金)

参加される方は、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

道立総研機構畜産試験場肉牛グループ 担当 西道 由紀子

FAX送付先 **0156-64-3212** E-MAIL: nisimiti-yukiko@hro.or.jp



氏 名	連絡先(TEL)	シンポジウム	意見交換会	現地討論	宿 泊 朝食付:5,000円